



もう いくつ寝ると、お正月.....♪♪

良いお年を お迎えください。

ステキな、キラキラ光る、魔法のような、癒される本たちがいっぱい、図書館より。(図書館司書 森本 智子)

本の中を、ちょこっと見てみましょう。

「聖地のスペシャリスト」

聖地とはどんなところですか？ 植島教授に聞く。

1. 気持ちのよい「土地のツボ」...「気持ちのよい場所」のこと。
2. 特殊な地形・自然条件下にある「鉱物が採れる」場所。
3. シンプルに言うと「石」が目印。
4. 人々が「感謝と祈りを捧げる」場所。
5. 「五感が開いて幸せになれる」場所。
6. 日本ほど聖地が多い場所はない。

- こんな人におすすめ
- パワースポットで運気を上げたい。
 - 世界中の聖地に行ってみたい。
 - 『世界ふしぎ発見』は毎週見ている。
 - 人に話すウケる雑学が知りたい。
 - 世界の神秘を味わい尽くしたい。

世界はふしぎであふれてる



育て方のせいにしないで・・・！

(内容紹介) 言葉がない、呼んでも振り向かない、皆とうまく遊べない。そんな自閉症児を持つ母親は、「あなたの育て方が悪い」と、「しつけ」や「性格」のせいにされて、よく非難されます。でも自閉症は脳の機能に生まれつき問題のある発達障害です。決して親の育て方のせいでなるものではありません。

“自閉症についての誤解をときたい”... そんな思いで生まれた物語です。

作者の戸部けいこの急逝により、連載は終了。

最終巻はファンの希望と作者の思いをくみ、後半ネームの状態の原稿を載せ発刊された。



ベストセラーコミック (全15巻)

椎名誠



こんな
写真を
撮ってきた

世の中にはいろんなジャンルの写真がありますが、なにが一番貴重ですばらしいかといいますと世界共通して「家族写真」、とりわけ親が撮る子どもの写真だろうと思うのです。世界のどの親子でもこれは共通しているはずで、これほど愛とやさしさに満ちている写真はほかにはないはず。—— 椎名誠。

地球の津々浦々を、風に吹かれ、空を見上げ、旅をしながらの写真の数々を収録した写真集。

サクティナブル・ライフ (大山知春)

(「はじめに」より)。日本は、物質的には間違いなく、世界でも有数の豊かな国です。しかし、日本を飛び出て他の国を見れば見るほど、この国が豊かだと思えませんでした。大量消費社会で消費するのは、地球だけではありません。その社会で暮らす人も同じです。社会だけでなく自分にも無理のない、すり減らない生き方を、

私は、「サステイナブル・ライフ」と定義します。

大山知春
Chikaru Oyama

アフリカで学んだ
自分も社会も
すり減らない生き方

サステイナブル・ライフ
Sustainable Life
How to live
without wearing out



その
生き方を、
ずっと続けて
いけますか?

ガーナで起業した後、
舌がんに見舞われ、帰国。
人生も仕事も「無理しない」
と決めた女性起業家が見つ
けた、本当に豊かな生き方。

あんじゅう (宮部みゆき)

(ストーリー)。ある事件を境に心を閉ざしていたおちかだったが、訪れる人々の不思議な話を聞くうちに、徐々にその心は溶け始めていた。ある日おちかは、塾の若先生・青野利一郎から「紫陽花屋敷」の話を聞く。それは、暗獣(くろすけ)にまつわる切ない物語であった。人を悪いながら人のそばでは生きられない(くろすけ)とは——。

心の奥の大事なものに火を灯してくれる。

あんじゅう

宮部みゆき